

ふくしの木

2019.4
No. 35

美馬市社会福祉協議会は、地域共生社会の実現を目指します



地域共生社会の実現
II 協働の推進 II

地域共生社会とは...

制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしを守り、生きがいのある地域をともに創っていく社会のことです。

Contents

- 平成31年度 当初予算の概要 01
- 社協の使命 02
- 4つの基本方針
- 職員名簿 03

ふくしの木

第三十五号 発行日/平成三十一年四月 発行/社会福祉法人美馬市社会福祉協議会 〒779-13610 徳島県美馬市脇町大字脇町一三〇三番地三
電話(〇八八三)五三二七四三三 FAX(〇八八三)五三二六四七五 e-mail mimash@tokushima-shakyo.jp

美馬市社協職員組織一覽

(平成31年4月1日現在)

<p>会長 大垣賢次郎 副会長 加美 一成 常務理事 田邊 正枝</p> <p>TEL 53-7432 FAX 53-6475</p> <p>★法人運営部</p> <p>事務局長 佐和 良佳 事務局次長 小川 芳信</p> <p>●総務課</p> <p>課長(兼務) 小川 芳信 主任 井口 和徳 主事 仁木 勝也 主事 田村 裕美 事務職員 野々村 要子</p> <p>TEL 53-7432</p>	<p>●地域福祉支援課</p> <p>課長 西岡利江子 主任 佐藤 誠二 主幹 井口こはる</p> <p>生活支援員 脇田美代子 生活支援員 森田喜久子 生活支援員 黒岩 誠治 生活支援員 藤山 知子 生活支援員 山本 博 生活支援員 藤田 孝子 生活支援員 佐藤 壽一</p> <p>暮らしサポートのみま</p> <p>TEL 53-7830</p>	<p>●地域福祉支援課</p> <p>課長 西岡利江子 主任 佐藤 誠二 主幹 井口こはる</p> <p>生活支援員 脇田美代子 生活支援員 森田喜久子 生活支援員 黒岩 誠治 生活支援員 藤山 知子 生活支援員 山本 博 生活支援員 藤田 孝子 生活支援員 佐藤 壽一</p> <p>暮らしサポートのみま</p> <p>TEL 53-7830</p>	<p>★在宅福祉サービス事業部</p> <p>事務局長 藤園 益也 事務局次長 小川 芳信</p> <p>●在宅福祉サービス課</p> <p>課長 加藤 俊治 事務職員 篠原 千尋</p> <p>TEL 55-0211 FAX 53-6490</p>	<p>協町ヘルパーステーション</p> <p>TEL 55-0211 FAX 53-6490</p> <p>訪問介護員 井上 眞弓 訪問介護員 東端 勝代</p>	<p>ケアプランセンター</p> <p>TEL 52-0567 FAX 53-6490</p> <p>訪問介護員 井上 眞弓 訪問介護員 東端 勝代</p>	<p>●美馬市地域包括支援センター(出向職員)</p> <p>課長補佐 中川 和美 主任 高橋 直美 主任 高田 千春 主任 清水 実子 主任 重長 瑞穂 主任 井口 由美 主任 竹田 佳子 主任 篠原 由香 主任 佐竹 佳子</p> <p>TEL 68-13030 FAX 68-13041</p>
---	--	--	---	---	--	--



『誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり』

社協の使命

「第3次発展・強化計画」「第3次地域福祉活動計画」をもとに、個人のニーズを捉え、地域におけるつながりの再構築を図り、問題解決のできる専門職としての自覚を持ち、住民が必要とする地域福祉事業を地域全体へ総合的な福祉サービスとして展開していきます。

社協の経営理念

1. 住民参加・協働による福祉社会の実現
2. 地域における利用者本位の福祉サービスの実現
3. 地域に根ざした総合的な支援体制の実現
4. 地域の福祉ニーズに基づく先駆的な取り組み

4つの基本方針

1 組織の基盤強化と社協事業の総合的推進

組織の基盤強化を図り、適正な組織運営に取り組むことによって、市民から理解と協力が得られる組織づくりに努めます。

また、社協の機能を総合的に発揮し、ニーズに合った事業展開を効率的、効果的に推進します。

2 地域福祉力の向上と福祉人材の育成

住民が参加・参画しやすい仕組みづくりや場を提供し、地域福祉活動の推進を図ります。

また、専門性の高い人材の確保と養成を図り、その人らしく生きがいを持ち、健やかに暮らせる地域づくりを推進します。



3 総合的な相談支援体制の確立と個別支援及び権利擁護の確立

日常生活自立支援事業を一層推進することにより、利用者の尊厳の保持と権利擁護の確立を図ります。

また、日常生活を営む上で直面する様々な生活困難課題の緩和及び解消の為に、各関係機関との連携を図り、役割分担と重層的な関わりで個別ニーズに沿った支援を行えるよう、社協としての役割を果たします。

4 地域住民から必要とされる福祉サービスの提供

利用者から選ばれる事業所となるよう、介護サービスのレベルを向上し提供します。

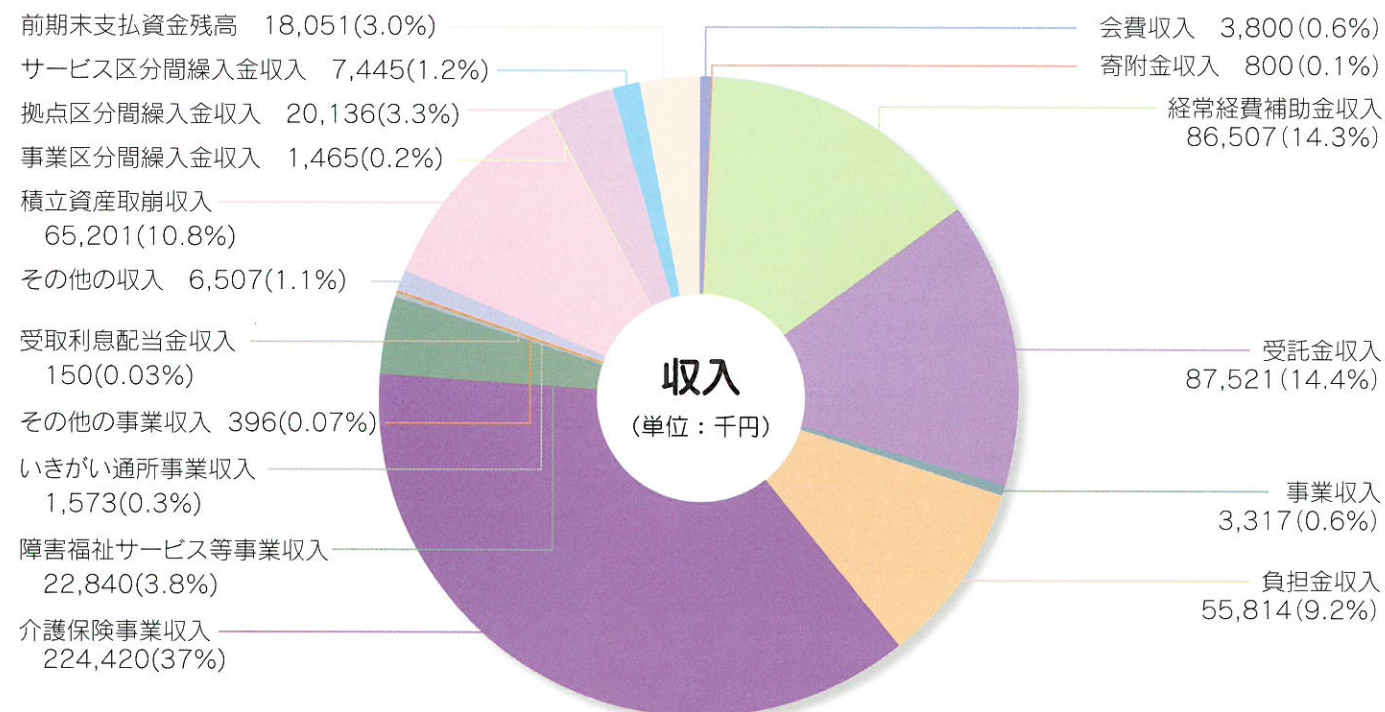
また、制度では対応できないニーズに対し、新たなサービスを検討し提供していきます。



平成31年度 予算の概要

収入の内訳

収入 **6億594万3千円**



支出の内訳

支出 **6億594万3千円**

